

2015年11月19日
三菱UFJニコス株式会社

**三菱UFJニコス、横須賀市と地域活性化で提携
「衣笠商店街プレミアム商品券」の発行業務を受託！**

～前払い決済サービスの「カード作成」「加盟店審査・契約」「端末・代金精算代行」等の業務を受託～

三菱UFJニコスはこの度、横須賀市(市長:吉田雄人)と提携、「衣笠商店街振興組合(代表理事:松本克己)と衣笠仲通り商店街協同組合(代表理事:木継芳孝)」(以下、衣笠商店街)が11月27日から29日の3日間で販売する「衣笠商店街プレミアム商品券」の発行業務を受託します。

「衣笠商店街プレミアム商品券」は、1万円券で1万2,000円分の買い物ができる“プレミアム付き”で、2,500枚の限定販売、来年1月31日まで同商店街でのみ利用可能。また、従来の「紙製」ではなく、クレジットカードと同じサイズのプラスチック製で、券面には明治14年の横須賀製鉄所(造船所)の絵地図が施されています。横須賀市と衣笠商店街では地域住民の生活支援と消費活性化を目的に同商品券の導入を決めたものです。

なお、今回の取り組みは、横須賀市からの支援のもと、衣笠商店街振興組合と衣笠仲通り商店街協同組合が同商品券の発行者となり、販売促進や利用者からの照会対応等を担います。当社は永年にわたりクレジットカード事業で培ってきたノウハウ・システムを活かし、カード作成や発行後の残高管理、加盟店審査・精算業務、決済端末設置などのインフラ整備等を受託するものです。

具体的に同商品券は、当社運用のクラウド型マルチ決済システム「J-Mups(ジェイマップス)」を導入する衣笠商店街の約50店舗で利用可能で、同システムにより利用者は店頭での代金精算時に、予め購入した商品券(カード)で支払い、残高の範囲内で繰り返し使える仕組みとなっています(追加チャージ不可、使い切り型)。

「J-Mups」は、専用のコンピューターサーバーに各決済機能を集約し、加盟店に設置の決済端末やPOSからインターネット経由で利用(決済)できる仕組み。今回導入する店舗では、同商品券のほかクレジットカード、銀聯カードの取り扱いも同時に開始し、訪日外国人の利便性向上にも一役買う仕様となっているものです。

当社は今後も、安全・安心・快適なキャッシュレス決済の環境整備を積極的に推し進め、地方創生・地域経済の活性化を盛り上げていきたいと考えています。

以上

<参考資料>

■「衣笠商店街プレミアム商品券」の券面



■「衣笠商店街プレミアム商品券」の概要

商品名	衣笠商店街プレミアム商品券
利用可能額	12,000円 ※販売額は10,000円
発行総額	3,000万円
発行枚数(販売枚数)	2,500枚 ※1回あたりの購入は1人5枚まで
利用可能店舗	衣笠商店街内約50店舗 ※J-Mups導入店舗
利用可能期限	平成28年1月31日(日)
決済端末	クラウド型マルチ決済システム「J-Mups」

■「J-Mups」の概要

1. クラウド型マルチ決済システム「J-Mups(ジェイマップス)」の主な特長

- (1) 拡張性: クレジットカード・銀聯カード・J-Debit(ジェイデビット)・各規格の電子マネーといった各種決済サービスに対応可能。加盟店独自のポイントプログラムやクーポン等のサービス機能も搭載できる。訪日外国人向けの「外貨建てカード決済サービス」にも対応。
- (2) 低価格: 従来端末に比べ低価格。インターネット回線を利用することで通信コストの削減も実現。
- (3) 高セキュリティ: 端末側にセンシティブ情報を残さない安全性に優れた設計。PCI-DSS準拠認定。
- (4) 高速処理: クレジットカードの処理速度が1~2秒(一般的なアナログ回線の場合10~20秒)

2. 端末イメージ

